

定一部金貳錢 廣五號十二 刊休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五

價一ヶ月廿錢 料字詰一行 日祝日ノ翌 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

郵税五厘 料五十錢 日祝日ノ翌 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下同番地（電話六三〇番）印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

刊々日九月二十

十二月一日ヨリ 十五日マデ

御婚禮道具 祝七五三御引物

特賣

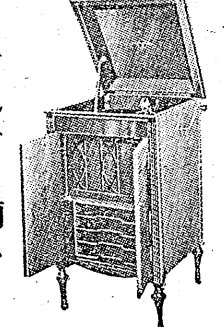
吉町目 和久井屋 電話〇五番

時計 常盤屋 電話三三九

指輪

何でも揃ふ 買い良い店

コクムビヤ 三幸堂 平二丁目



正確な体温計 関内薬局 電話〇番

寒暖計

喫茶部開設

消費節約—防火衛生—優美堅牢

暖爐界之征服者

ネンシヨウストーブ

經濟的連續完全燃焼

簡便を欲せらるゝ御方は 是非御試し下さい

御請求次第カタク 進呈

久釜屋商店 平町五丁目（電話九番一三九番）

寒さの御用意は「緊縮時代」に相應しい「實用品」と決りました。弊店は「金解禁」を前に安價のどん底を仕入れ、皆様に買つて戴く事になりました。どうぞ一度御覽下さい、そして御撰擇を願ひます。

日丁三町平 店服吳屋田亀 番七五話電

意用御のさ寒 賣廉の品用實

柄▼ニコく新柄

貸切自動車の御用命は 昭和タクシーへ

高級車で乗心地の好い 昭和タクシー

電話は 三四三番 平驛前

切斷の苦しみなく... 靈藥ムテキ

阿康藥店 縣社下古鍛冶町（電話四四番）

スグキク... 風、頭痛 ラヒト 有偽物 効力本位... 神、神経痛

丹波博士創製 セキトメ たんばあめ がよくてセキ

正札堂

いや... 君、見違ひたよ

洋服を求めた

いやコレカネ... 例の「ソレ」

正札堂



り通車停町平 堂札正

奇妙に良くきくハリグスリ 不思議膏

神経痛、かたのこり、うちみ、くぢき、リウマチス、齒痛

ハツテ御覽なさい驚くばかり薬効あり

特約店 小野屋藥店 平四丁目 電話一四四

美味評判 小野屋商店 平町細屋町（縣社通り） オの部電話四六〇番

美味滋養 シュークリーム

一ツ五錢

目丁四 ヤトモツマ 番四一二話電

可愛らしい洋服 七五三の 特價賣出し モリタヤ

子供洋服 ツバ 毛シヤバ

帽子 エプロン マント 新らしい品取揃

五丁目 電話三五三番

七五三の御用意は ツルヤへ!!

可愛らしい子供服

オーバー 四圓五十錢ヨリ

マン ト 二圓五十錢ヨリ

毛糸エリマキ 六十錢ヨリ

毛糸シヤツ 五十錢ヨリ

子供帽子 箱 追

レース付服エプロン 二十八錢

その他皆様の御氣に召します様 新らしい品を取揃へました

平町四丁目 ツルヤ 電話一四〇

陣容を建て直して 石城政友派の總會

引續き木村代議士歓迎會 昨日有聲座の盛況

石城郡政友派にては既記の如く昨日午前十一時から有聲座に於て開催、郡内から主腦同志五百有餘參集、劈頭元代議士安島重三郎氏

尚ほ顧問及び幹事は近く幹部會を開いて決定する事となり安島重三郎氏會長引退の挨拶を述べ會長木村清治、幹事長鈴木辰三郎兩氏の新任の挨拶あり次いで左記宣言決議を可決

開會の 辭を述べ協

現濱口内閣が名を國家經濟の緊縮と金解禁とに籍り産業に適切なる前内閣の施設を中心し徒に其聲を大にして國民を萎縮せしめ爲めに農工商業の發展を阻害し多数民衆を失業の悲運に陥し人れんとするは是れ忠良なる帝國臣民が一寸も黙過する能はざる所なり、殊に緊縮に藉いて他面險惡なる政治を行ひて民心を惡化せしめ産業の振興民福の増進に關しては毫末も顧みざる所なし更に地方行政に至りては自治体の權威を犯して民意を防過し地方の開發進展に緊切なる事業と雖も徒らに中止繰延を強要して時勢の要望を阻止せしむ其黨利黨略に終止せしむ國家百年の大計を無視するに堪へざるものなり吾等は公明なる政治の下に我黨本來の主張を實現すべく産業貿易の發達を促し國富の充實を圖り民心を穩實に匡導して國民の春風に座するの

- 起用し 重要執行機關の衝に當らしめ面目を刷新せんと左記の如く決定
- 會長 木村 清治
- 副會長 山崎 吉平
- 幹事長 鈴木辰三郎
- 常任幹事 山田忠太郎、千葉 彦治、川崎 文治、山田 龍輔、三森 虎雄、赤津 庄兵衛、武藤 俊一、遠藤 俊一
- 會計監督 阿部政右衛門
- 支部分議員 門馬倉次郎、草野三三之助、兒玉 萬平、下山田嘉一郎、遠藤俊一郎、伊藤淺之助
- 相談役 高岡唯一郎

大正十二年より本年度までの平均に於ける火災の度數及損害額は左記の通りである

年度	回数	損害額
大正十一年	六二五	九〇〇
同十二年	一一五	五〇〇
同十三年	一〇〇	〇〇〇
同十四年	一一〇	〇〇〇
同十五年	一一五	〇〇〇
昭和二年	三四二	六二五
同三年	五五二	六六五
同四年	五五三	三〇〇
同五年	五五三	三〇〇

本年平町の火災損害額 實に十五萬二千三百圓

戸數割と營業税を合するも損害額には及ばない

十圓を合するも損害額には到底及ばない尙ほ保險料は昨年度の保險率は千分の九であつたが本年度は千分の十一に上つて居るから保險契約高を八百萬圓と見れば平町は昨年度より一萬六千圓多く負擔して居る事になると

官行製炭の 壓迫で減少

濱三郡の木炭

濱三郡木炭同業組合にて十一月検査した木炭の俵數は石城郡四萬六千九百七十

鮫川疏水復活の 工事促進を建議

小名濱港給水の水源にと

石城選出六縣議提出

鮫川疏水の復活問題は近く完成せんとする小名濱商港の給水水源をこれに求むる以外良策ないので小柳知事金森内務部長とも着任早々濱通り

巡視を 機として山

奥なる石城郡上遠野村にその取入れ口まで跋渉實地調査を遂げるので在任中の事業として萬難を排しこれが復活を

計画に ありも遺

石城郡鮫川堰疏水路の灌漑區域は同郡小名濱町、植田町、泉村、玉川村、渡邊村、上遠野村の二町四ヶ村に亘り遠く開

怪行者は弟 身元が判る

既報去る一日石城郡好間村字大館青雲院地内で老衰の爲め行き倒れとなり死亡した赤井村不動堂居住者自稱長谷川順堂(七)は身元不明の爲め好間村役場で假埋葬に附したが昨日石城郡赤井村字西小川長谷川佐七が新聞見て自分の弟らしい

平町 人事

- 出生 △鎌田町字下川原 木村徳藏氏三女 登美子
- △材木町四〇 小菅康平氏二男 道夫
- △田町四 武田カネ(二六)石城郡平窪村字下平窪字諸荷一 長瀬亮明氏
- △死亡 △新川町十三 牛澤廣吉氏其男(四ツ)